

(別紙4(2))

事業所名 グループホーム いこい

目標達成計画

作成日: 平成 31年 3月 28日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】				
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容 目標達成に要する期間
1	35	近所の方に自動通報される火災通報装置を、近所の方との非難訓練の際、実際に鳴らしてみてもどうかという案があったが、システムを呼んだり各方面への連絡があり難しくできなかった。災害の研修時に職員の連絡網を回す訓練をするつもりはあったが実施できていなかった。	緊急連絡網を活用して実際に連絡し緊急時に連絡網が機能するようにしていく。	職員には知らせず実際連絡網を回してみる。(伝言ゲームのようにしてみる。最後の職員がいこいに連絡する。電話に出なかった時、きちんと次の人に回せたか確認をしていく。 12ヶ月
2	33	ここ最近ターミナルケアを実施していなかったためターミナルの勉強会の必要性を感じていなかった。	ターミナルの勉強会をする。	年間研修計画に管理者が主体になり、ターミナルの勉強会を入れる。外部研修であればそれに参加した職員が報告し勉強会を実施する。 12ヶ月
3				ヶ月
4				ヶ月
5				ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。